大門良輔県政報告

ご挨拶

4月30日より富山県議会議員としての任期がスタートし、新たな一歩を踏み出すことになりました。この県議会の場で働かせていただいているのも、ひとえに皆さまのお陰だと感謝申し上げます。緊張と期待で胸がいっぱいになった初登庁に始まり、新人研修や県内行政機関の視察、そして6月議会の一般質問など市議会議員時代との違いに戸惑いながらも、多くの経験をさせていただいております。

これから県議会議員として、滑川市や富山県の発展のために、皆さまのお声を聞き、現場を確認しながら頑張ってまいりますのでどうかよろしくお願いします。

富山県議会議員　大門良輔

常任委員会は経済産業委員会に

県の事業を進める上で、5つの委員会に分かれて、予算や条例を審議します。大門良輔が所属するのは経済産業委員会になりました。経済産業委員会とは商工労働や農林水産の分野になります。商工労働では企業誘致や高速通信システム5Gの導入、人手不足などについて、また農林水産では新品種の「富富富」の販売から持続可能な農林水産、中山間地の振興など、委員会では幅広く議論をしています。

また特別委員会は人口減少問題特別委員会となりました。

常任委員会

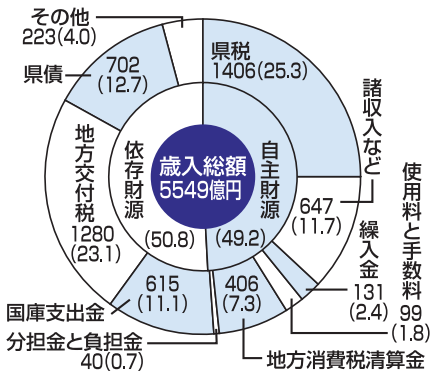
- 経営企画委員会
- 教育警務委員会
- 厚生環境委員会
- 県土整備観光委員会
- ★ 経済産業委員会

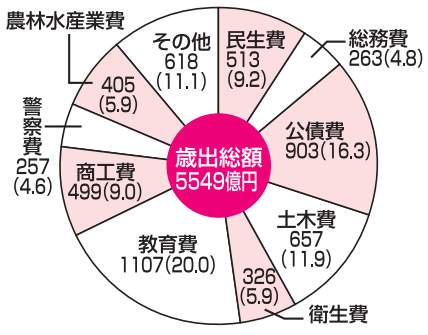
特別委員会

- 産業振興特別委員会
- ★ 人口減少問題特別委員会
- 総合交通・県土強靭化特別委員会

富山県の本年度予算は5549億円

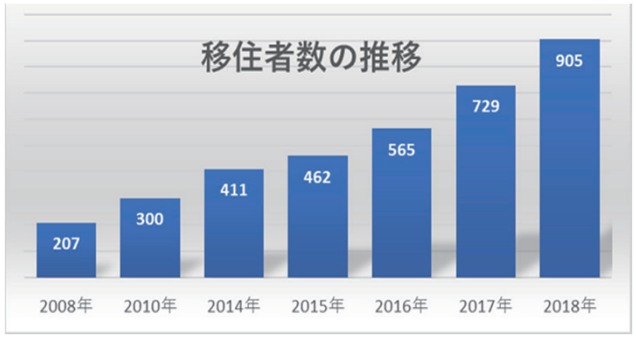
2019年度の一般会計は5549億円です。行政改革に取り組み400億円の財源不足は解消されましたが、人口減少社会において今後の行政運営と年々増え続ける社会保障費の財源確保が重要な課題です。また、その中において活力のある地域経済の創造や安心して安全に暮らせる社会をつくるために、皆様から頂いた税金をどのように使うのか考え、チェックしていきます。





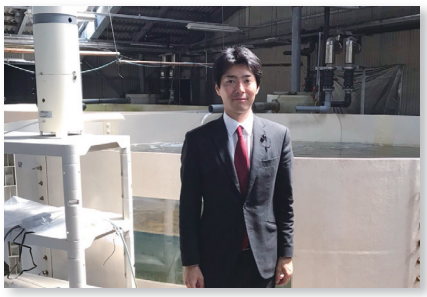
富山県の移住者数が過去最高の905人

2018年度の富山県の移住者数が905人と過去最高を記録しました。10年前の2008年をと比べると約4倍の伸びであり、全国の移住地希望地ランキングも8位と上位につけ富山県が選ばれるまちになりつつあると感じています。移住者の大半が若者であり20代が30.9%、30代が34%となっています。やはりモノづくり県として働く場所がある事や子育て支援が充実している事が理由です。今後はさらに選ばれるまちになるよう富山県の魅力を伝え発信していく仕組みを考えていきます。



活動報告

富山県水産研究所視察



北陸職業開発大学校

県内の重要な土木現場視察

富山県産業技術研究開発センター視察

富山県薬事総合研究開発センター視察

滑川海難救助訓練視察

6月議会一般質問

質 移住者増に向けての取り組みについて

富山県が今後さらに選ばれる地域になるよう、挑戦していかなければならないと考える。新たに選ばれる富山新時代を創るために、今年度の移住者数1,000人という目標のほか、移住希望地ランキングの上昇など、移住の推進に向けどのように取り組むのか、所見を問う。

答 石井知事

若い世代が移住先として富山を選んでもらうためには、就業や起業の場の確保と子育て環境の整備が重要となってくる。その中で、富山の魅力を高め、市町村や企業、関係団体と連携をして総合力を高め、大都市圏から本県が選ばれる地域になるよう全力で努力していく。

質 ほたるいかの漁獲激減について

近年、本県沿岸の漁獲量について、魚種によっては変動が大きく、ほたるいかなど富山を代表する魚種も不漁の状態であることから、今後、本格的な調査も必要ではないかと考えるが、この現状をどう考え、どのように取り組んでいくのか、問う。

答 河村農林水産部長

富山湾に入ってくる魚種によって変動するのは避けられないものと考えるが、極端なものは漁業経営を不安定なものにしかねないと考えている。今後は漁期中の水温の調査や他県の状況をより漁獲量の原因をより詳細に分析をしていきたい。

質 沖田川の治水対策について

滑川市の沖田川については、近年、上流域において宅地開発が進んでおり、更なる治水対策が必要と考えるが、今後の取組方針はどうか、問う。

答 水口土木部長

鉄道より上流の浸水対策として、放水路第２期工事の延長約120mの計画について今年度から着手をし、詳細設計を行うこととしている。
また下島から沖田新地内の川の流れを良くするよう河床のコンクリート化をすすめている。

質 安心して行える不妊治療について

近年不妊治療を行う方が増加傾向にあるが、この医療を安心して受けられるよう、使い勝手が良く、またプライバシーを守る観点からも、１時間単位で取得可能な有給休暇の制度を県内の企業に広めるための取組みを行ってはどうか、所見を問う。

答 蔵堀総合政策局長

仕事と不妊治療の両立ができず16%の方が離職している。通院の時間だけ仕事が休めるよう時間単位の有給取得制度は仕事との両立に優良な手段と考える。また企業に対しても離職は大きな損失でもあり、人材確保の面でも意味のあることである。

■富山県の重点目標

結婚から子育てまで切れ目のない支援

① 結婚･妊娠･出産の支援
② 家庭環境における子育て支援
③ 職場における子育て支援

活力あるまち 健やかな暮らし 未来を担う人づくり

① 交通ネットワーク整備と活力あるまちづくり
② 健康でともに支え合い安心して暮らせる社会
③ 地域を担う人づくり

女性や高齢者などの多彩な人材確保

① 女性が輝いて働ける環境づくり
② 高齢者等が能力を発揮して活躍できる社会の創造
③ 多彩な人材確保と労働生産性の向上

産業の振興や若者等の雇用の創出・観光振興、県内への移住促進

① 産業・地域経済の活性化
② 若者や女性がいきいきと働き暮らせる魅力ある地域づくり
③ 観光振興、定住・半定住の環境づくり

富山県議会議員 大門良輔 ●出前講座ご希望の方は下記までお問い合わせ下さい。
住所：滑川市高月町561　TEL：076-475-0455　FAX：076-475-9888
MAIL：ryousukedaimon0326@gmail.com　FB：https://www.facebook.com/ryosuke.daimon.7

発行人　自由民主党富山県議会議員会　大門良輔
令和元年8月発行